

頭部外傷後に注意すること

本日のCT検査においては、脳内に特に異常はありませんでした。

しかし、**頭部外傷後は、脳にいろいろな変化が起こることがあります。特に、頭の中に出血がおこると生命に危険を及ぼす場合があるので、注意が必要です。**

頭をうった後、元気だった人が急に意識がなくなってしまうことがあるのも、このような頭の出血（頭蓋内出血）によることがあります。頭蓋内出血は頭の骨の骨折があるかないかには必ずしも関係しないため、頭の骨に異常がないからといって安心はできません。

頭を強くうった後は、少なくとも1～2日間は安静にし、一人で外出したりしないように注意してください。

下記の症状が見られたら、すぐに医師の診察を受けてください

症状はすぐにおこることもありますが、2～3日、時に数日～数ヶ月たってから起こることもあります。

頭痛・吐き気

頭痛がだんだん強くなり、吐き気、嘔吐が何回も起こる。（食べ物を吐いたり、何も食べていないのに吐く）。

よく見えない

物が二重に見えたり、物がよく見えなくなったりする。

けいれん

けいれん（ひきつけ）が起きる。

ぼんやりする・眠気

ぼんやりしてきたり、放っておくとすぐ眠ってしまう。起こしてもなかなか起きなかったりする。（受傷当日は夜間でも、ときどき起こしてみても、はっきり返事ができるか、確かめてください）。

手足に違和感

手足が動かしくなくなったり、しびれたりする。特に、右と左で動き（力の強さ）が違う。



小さな子どもの場合は、しっかりと様子を確認しましょう。

小さい子どもは相当強く頭をうった時でも、症状が出にくいことが多く、また、自分で症状が言えません。たとえ元気にしていても、2～3日は目を離さないでください。

受傷から半年くらいまで、十分に注意しましょう！

頭をぶつけた後、3週間～6ヶ月間くらいして、まれに頭の中に血液がたまることがあります（慢性硬膜下血腫）。経過中、①頭痛、②はきけ、③脱力感、ふらつき、④認知症、などの症状が徐々に現れ、悪化するようなら、医師の診察が必要です。

2～3日様子を見てすむものではありません。高齢者では頻度が高いのでご注意ください。